

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 25. 4. 3 第 183 回国会第 6 号

4 月 3 日（水）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・田村厚生労働大臣、西村内閣府副大臣、榎屋厚生労働副大臣、秋葉厚生労働副大臣、北村総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官、とかしき厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

柚木道義君（民主）

- ・産業競争力会議で議論されている解雇の金銭解決制度の定義を伺いたい。この制度が導入されると金銭さえ支払えば解雇することができるという問題が発生するのではないか。
- ・産業競争力会議が一定のホワイトカラーについて労働基準法の労働時間規制を適用除外するホワイトカラー・エグゼンプションの導入を提言しても、労働政策審議会で労使の意見が一致しなければ法案を国会に提出しないことを確認したい。
- ・O T C 医薬品の成分を配合したアレルギー性鼻炎治療薬に有用性加算を適用したのは問題であり、薬価算定の在り方を検討すべきではないか。また、この治療薬には、薬物乱用防止の観点から各国で管理を強めている薬剤が含まれており、適正な処方を行う必要があるのではないか。

山井和則君（民主）

- ・産業競争力会議で解雇の金銭解決制度の導入が提案されている。解雇の金銭解決制度の導入は問題と考えるが、その可能性について厚生労働大臣に伺いたい。
- ・生活扶助基準の引下げに伴い、住民税が課税され、介護保険料の負担が増える者はどれくらいになると厚生労働省は想定しているのか。

宮沢隆仁君（維新）

- ・現在の看護職員の需給状況に対する厚生労働省の認識を伺う。また、外国人看護師採用の展望についても伺う。
- ・医療情報の利活用を促進するために、個人番号制度の医療システムへの応用も検討すべきと考えるが、厚生労働省の見解を伺う。
- ・再生医療により平均寿命が延び、超高齢化社会となることが予測される中で、倫理面や社会保障財政面で課題が生ずると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺う。

新原秀人君（維新）

- ・医療費の具体的な抑制策について伺いたい。また、予防医療の観点から歯科医療を活用することについて厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・平成18年8月の文部科学大臣と厚生労働大臣の確認書において示された、歯学部定員減と歯科医師国家試験の合格基準の引上げ方針について、現在の状況を伺いたい。
- ・原則60歳までしか加入できない国民年金の加入期間を支給開始年齢に合わせて延長し、長く加入した人は支給額も増額すべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

柏倉祐司君（みんな）

- ・介護療養病床の転換に係る現政権における今後の展望について、厚生労働大臣に伺いたい。
- ・介護療養病床の老人保健施設への転換に係る追加支援策の検討状況について伺う。また、多くの入所待機者がいる特別養護老人ホームへの転換を進めるべきと考えるがいかがか。
- ・医療機能の再編のイメージにおける高度急性期の病床数と一般病棟入院基本料に係る7対1の看護師等の人員配置基準の相関関係、2025年における高度急性期の病床見込数18万床の必要性について伺いたい。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・認可保育所に子どもを預けられない保護者の異義申立てが大きな社会問題となっている。こうした保護者から聞き取りをするとともに、現状やその解決策について地方自治体と協議等を行っているのか厚生労働大臣に伺いたい。
- ・待機児童解消には期限を区切って認可保育所を増やすべきであり、保育所整備のための予算の確保に特段の配慮が必要と考えるがいかがか。
- ・保育所等を増加する必要があるが、安易な規制緩和は許さず、子どもを安心して預けられる安全な認可保育所を確保する必要があると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

堀内 詔子君（自民）

- ・妊娠・出産した女性の継続就業や出産後の再就職を支援することにより、子育て期の女性が社会で活躍できる環境を作る必要があると考えるが、厚生労働省の現状認識と対応状況を伺いたい。

奥水 恵一君（公明）

- ・国民の健康寿命を延ばすため、検診や予防など国民一人一人の健康増進への自主的な取組を評価し、インセンティブを与えるような施策が必要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・発達障害者が社会で活躍することができるよう、厚生労働省は発達障害者が持つ能力・可能性を伸ばす社会環境を整備する必要があるのではないか。
- ・介護サービス事業については、その取組だけでなく、サービス利用者の要介護状態の維持・改善などの成果を評価し、報酬に加算するなどの施策を行っていく必要があるのではないか。

2 健康保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出第18号）

- ・田村厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。